

## 成田記念病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性がある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	がん化学療法患者のステロイド累積投与量による糖尿病発症率とリスク因子についての検討		
当院の研究責任者	薬局 鈴木 善貴		
試料/情報を提供する 他の研究機関及び各施設 の研究責任者	名古屋掖済会病院	薬剤部	中村 敏史
	中部労災病院	薬剤部	徳田 富妃子
	中京病院	薬剤部	松下 直樹
	豊橋市民病院	薬 局	原田 哲彦
	名古屋大学医学部附属病院	薬剤部	小西 郁代
	国立医療センター東病院	薬剤部	石川 未奈子
本研究の概要	<p>&lt;研究の背景・目的&gt;</p> <p>抗がん剤治療や制吐目的で使用したステロイドにより糖尿病を発症するケースや悪化するケースが多くみられるため、糖尿病の発症率やリスク因子が明確となれば、がん化学療法を施行する際にステロイドの減量などの糖尿病発症の対策を行え、有害事象の軽減にもつながる可能性があります。</p> <p>2015年に発刊された制吐薬適正使用ガイドライン第2版では高度リスクや中等度リスクの催吐性抗がん薬に対してアプレピタントを併用し制吐作用の改善が示されていますが、発刊後の報告はありません。日本ではステロイド以外のリスク因子についてこれまで十分に検討されていない現状であるため、こちらも併せて調査する必要があります。そのため、がん化学療法のステロイド累積投与量による糖尿病発症率について検討し、リスク因子について調査することになります。</p>		
調査データの該当期間	2016年4月1日～2017年3月31日		
研究対象・研究方法	対象となる方は、大腸がん、乳がんの患者様で、がん化学療法（ホルモン剤以外）を開始する前に医師により糖尿病と診断されていない患者様のうち、上記の期間に、化学療法治療を受けた患者様が対象となります。利用する情報は、電子カルテに記載のある診療録、検査データを利用します。		
結果の公表	学会や論文等で公表します。		
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。		
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反はありません。		
お問い合わせ先	電話：0532.31-2167(平日9時～17時) 担当者：鈴木 善貴 担当者：杉山 みづほ		